

ウトウの頭遭難(2016年4月)

62歳女性が帰宅せず、女性の夫が捜索願を出し埼玉県警と警視庁が3日から捜索したが発見に至らず。8日に登山道(長沢背稜)から25mほど下った東京側崖下で登山者が発見し、死亡を確認。



解説

遭難者の行動は、タワ尾根周回コースを時計回りか逆回りかも分からない。発見場所から下りの滑落ではないかと推測してみた。20km超のコースのため疲労もあったのだろうか？

滝谷の峰からの下り1,602mピークからウトウの頭までは岩稜のため、「A」の尾根を下ってしまったのだろうか。遭難者はA尾根をそのまま下ったが、尾根が急になりこれ以上尾根を下れないと判断し、東側の沢に下ったのではないだろうか？そして滑落してしまった可能性がある。

遭難者は15年以上の登山経験があり、登山届も提出されている。しかしながら発見が遅れた理由は、道迷いにより登山道から外れてしまったことにある。また、単独行のため、道に迷ったときの精神的な不安から判断が誤った可能性もある。

「あれっ？」思ったときの初期判断は？来た道に戻る？下山道を修正して沢を下る？

誤った判断が取り返しのつかないことになってしまう。道に迷ったときは、決して沢を下ってはいけない。